



学力調査について

4月に1年生の市学力調査、2年生の県学力調査、そして3年生の全国学力・学習状況調査が実施されました。結果等については、新聞等で報道されているところもありますが、本校の結果について分析した内容をお伝えします。生徒たちの今後の学びに役立ててもらえればと思います。

【1年生 市学力調査 国語】

長崎市の平均と比較すると、「基礎」の内容・「活用」の内容ともに市の平均を上回っているという結果でした。ただ、領域別の結果を見ると、「情報の扱い方に関する事項」が市の平均を下回る結果となっていました。「目的に応じて、文章の情報を整理している」という部分、つまり、文章を読み、どのような内容なのかをしっかりと理解するところに課題があると言えます。このことは、「文章全体の構成や展開を考えて」書く、「目的や意図に応じて」書くということも課題となっていることと関係があるようです。読書に親しむ機会を多く作ること、長い文章であってもしっかりと最後まで読むことのできる力を育てることなどに力を入れていきたいと思います。

【1年生 市学力調査 数学】

数学も、「基礎」の内容・「活用」の内容ともに市の平均を上回っており、領域別の結果も良好な結果が出ていました。小学校で学習した内容がほとんどであり、全体的によく理解しているようです。ただ、「立体の体積を求める」「 1m^2 あたりの人数を求める式を選択する」といった問題で、理解が十分でないところがあるようです。

分数の計算問題で理解が十分ではないところがありましたが、このこととかわりがあると考えられます。分数は、今後の学習でも大切な内容となります。改めて、計算練習などを通して、確実な理解に努めてほしいと思います。

【2年生 県学力調査 国語】

「知識及び技能」「話すこと・聞くこと」「読むこと」の3領域では、県や市の平均正答率を上回りました。全体としても県・市の結果を上回っています。ただ、「書くこと」については、県・市を下回る結果となりました。

ふだんから書く活動に慣れている生徒もいると思いますが、あきらめて無解答（空欄）にしている生徒がやや多いことが気になります。授業では、自分の考えなどをまとめる活動が行われていますが、そのような書く活動にしっかりと取り組んでいきたいものです。

【2年生 県学力調査 数学】

全体としては、惜しくも県の平均正答率を下回りました。基礎的な計算力では県全体を上回っていますが、関数や図形の問題では、無解答（空欄）があり、いずれも県全体を下回っています。

右の問題は、県全体で課題となっているものです。（1）は「最頻値」を、（2）は「相対度数」を求める問題ですが、最頻値、相対度数という言葉を知っていなければ、この問題を解くのは難しいはずです。

解答の状況を見ると、（1）は「20～25」と書いた人が多くいました。

ある程度はわかっているのでしょう。ただ、そこで終わらず、確実な理解までできていることが望ましいと考えます。

5 下の表は、ある中学校の2年生80人の徒歩での平均通学時間を調べた結果を、度数分布表に整理したものです。
このとき、次の（1）、（2）の各問に答えなさい。

2年生の徒歩での平均通学時間

階級(分)	度数(人)
以上 未満	
0 ～ 5	2
5 ～ 10	6
10 ～ 15	3
15 ～ 20	7
20 ～ 25	26
25 ～ 30	15
30 ～ 35	12
35 ～ 40	9
合 計	80

(1) 2年生の徒歩での平均通学時間において、最頻値を求めなさい。

正答：22.5 分

(2) 2年生の徒歩での平均通学時間において、30分以上35分未満の階級の相対度数を求めなさい。

正答：0.15

【3年生 全国学力・学習状況調査県学力調査 国語】

全ての領域において、平均正答率が全国・県を上回っていました。しっかりと理解する力がついていると思います。唯一下回った問題が、「多数決をとる」の「とる」を漢字で答える問題でした。「きのこをとる」の「とる」と同じ漢字になります。（正解は「採る」）

文脈に即して正しく漢字を書く力をつけていく必要があります。語句を文章の中で使うことができるかどうかは、授業などで行っている「書く」活動が大切になると思います。理由を含め自分の考えを書く問題などにも、それが生かされるはずで、自分の考えなどを文章で表現する力を一層伸ばしてほしいと思います。

【3年生全国学力・学習状況調査県学力調査 数学】

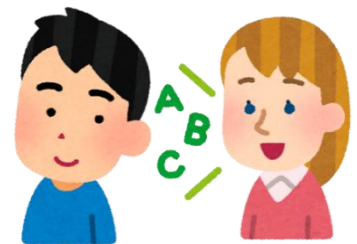
国語と同様、全ての領域において、平均正答率が全国・県を上回っていました。全体的にバランスよく力をつけているという印象を受けます。ただ、「図形を見て、証明する事柄における仮定となる辺や角の関係を選択肢から選ぶ」問題、グラフを基に「就寝時刻が23時より前の生徒と比べて、23時以降の生徒の方が、睡眠時間が短い傾向にある」ということを主張できる理由を説明する問題が、課題となりました。少し長い説明文もあり、やや難しく感じたことと思いますが、大切な部分を見つけ、それを基に数学的な表現を用いて証明したり説明したりするといった、高いレベルでの数学の力が求められていると思います。

【3年生全国学力・学習状況調査県学力調査 英語】

英語は、昨年度の理科と同様に、1人1台の端末を使用した「C B T調査」で行われ、個人によって問題内容が異なる形で実施されました。そのため、結果については、500を基準としてどの程度の力があるのかが「I R Tスコア」という形で示されています。「聞くこと」「読むこと・書くこと」ともに、平均正答率が全国・県を上回っていました。

生徒質問紙でも「英語の勉強は好きですか。」「英語の授業の内容はよく分かりますか。」「英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。」という質問に対して、肯定的な回答が高いという結果が出ています。

「学校で普段行うことを1つ取り上げ、それについての説明を書く」のような英語で書く活動が十分ではないことが、全国的な課題となっています。授業や家庭学習の中で、英語を使って自分の思いや考えなどを簡潔に書くといったことに積極的に挑戦してほしいと思います。



全国学力・学習調査の生徒質問紙より

生活面や学習状況などに関する質問の回答状況です。数値は肯定的な回答の割合（％）です。私たちにとっても参考になるところがあると考えています。

○自分には、よいところがあると思いますか。	本校 84.6	全国 84.0
○将来の夢や目標を持っていますか。	本校 74.7	全国 67.6
○人が困っているときは、進んで助けていますか。	本校 94.6	全国 90.8
○いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	本校 93.7	全国 95.1
○分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。	本校 70.3	全国 78.2
○学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。	本校 80.2	全国 79.0
○授業で学んだことを、次の学習や実生活に結び付けて考えたり、生かしたりすることができると思いますか。	本校 81.1	全国 78.0

学習面だけではないと思いますが、「**自分でどのようにしたらよいかを考え**、試行錯誤しながらより良い方向を目指す。」これからも意識してほしいと思います。